

インフルエンザ対策用マスクについて

新型インフルエンザの大流行に備えて不織布マスクの備蓄が各家庭・企業で推奨されていることはご存じだと思います。

不織布マスクには様々な種類があり、店頭などで購入される際に迷われたことはないでしょうか？

そこで新型インフルエンザ対策用としてよく耳にする「サージカルマスク」と「N95マスク」について簡単に特徴をまとめてみました。

サージカルマスク

アメリカ食品衛生局ではサージカルマスクの基準をBFE95%以上と定義しています。

BFEとは Bacterical Filtration Efficiency (バクテリアろ過効率)の略で、細菌を含む粒子(平均4.0～5.0 μm)が除去された割合を表します。

患者がウイルスを拡散させない為の咳エチケットを目的としたマスクです。

咳が出たり、症状が出たりした場合はまずこのマスクを着用し、周囲への感染拡大を防ぎましょう。



N95マスク

米国労働安全衛生研究所(NIOSH)のN95規格をクリアし認可された微粒子用マスクのことです。N95規格とは0.1～0.3 μmの微粒子を95%以上捕集出来るフィルター性能を示しています。

新型インフルエンザに感染した患者に接する場合にはこのマスクで対応することが望ましいでしょう。

主に患者を診察する医師などが使用するマスクで密閉度が高い為、長期の装着には向かず、一般の方には不向きと言えます。



マスクの効能と限界について

厚生労働省の新型インフルエンザ専門家会議(平成20年9月22日)によると、

不織布製マスクを着用することで、フィルターに環境中のウイルスを含んだ飛沫がある程度は捕捉されるが、感染していない健康な人が飛沫を吸い込まないようにする事は出来ない。

とあります。これはマスク着用の効果が現時点で「十分な科学的根拠」が得られていないからです。

最近では誇大表示や誤解を招くような表現をしたデザインマスクも発売されているようです。

マスクをすることでインフルエンザウイルスを完全に防げるとは限りません。マスクのみに頼るのではなく、まずは手洗いうがいをしっかり行い、その上で状況に応じたマスクを選んで正しいつけ方、はずし方を行いましょう。